

2011年度

科目名	文化財学外書講読Ⅱ				
担当教員	犬木 努				
配当	文修1・文博1			コード	42025
開期	通年	講時	木曜日2限	単位数	4
授業テーマ	英語圏の原書講読を通じて、諸外国(主に英語圏)の考古学を学び、日本考古学を深める手がかりとする				
目的と概要	欧米の考古学関連書を輪読し、諸外国の考古学の方法論や分析手法についての基礎的な知識を習得するとともに、日本考古学の現状を考える手がかりとする。外書を読むだけではなく、関連テーマの日本語文献も併読し、両者を比較検討していく。				
成績評価法	(1)授業時の英文和訳のでき具合(50%)、(2)授業時の発表内容(10%)、(3)レポート・試験の成績(40%)などを総合して評価する。				
テキスト	授業時にプリント(テキスト)を配布する。 『プログレッシブ英和中辞典』(小学館)を購入し毎回持参のこと。				
参考書	授業中に適宜指示する。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	・『プログレッシブ英和中辞典』(小学館)を購入し、毎回持参のこと。授業中の電子辞書使用は認めない。 ・訳出箇所を事前にわりあてるので、必ず、予習してくること。 ・授業中に参考図書を指示された場合には、事前にきちんと読みこなしておくこと。				
講義計画					
(1) 下記書籍を読み進めていく。 Colin Renfrew & Paul Bahn編、 Archaeology The Key Concepts					
(2) 欧米考古学に関連する日本語文献を精読する。					
(3) 各自の専門テーマに即して、(1)(2)に関連するテーマで発表してもらい、議論を深める。					
※内容の一部変更の場合あり。履修生の希望があれば、これ以外の書籍を用いる場合もある。					